

会社は退職者補充を行え！

労災事故を弾劾する

新東京郵便局からの
職場レポート

職場に闘って労働組合をうけとる

郵便局で働くみなさん、日々のお仕事お疲れ様です。今回は、新東京郵便局の労働者からの投稿を掲載します。この3月、どの職場でも退職する労働者が多数います。しかし、会社は退職者の補充を一切行いません。とんでもありません。『会社は欠員補充を行え！』の声を現場から上げていきましょう。



新東京郵便局（集中処理局）で昨年末から今年1月にかけて労災事故が4件発生した（左に掲載）。11月27日、フォークリフト運転中の車輪にひかれて足を骨折。12月15日には、鉄製パレットによる手指の損傷。今年1月13日には、

パケット区分機を稼働中に軍手ごと巻きこまれて指を切断。そして1月30日、鉄製パレットによる手指の損傷だ。その全てが非正規職員が事故にあい、全治2ヶ月から4ヶ月以上かかる事故である。この事態に当局は「重大労働災害多発緊急

宣言」なるものを各部に掲示した。その内容は「全てのオペレーションはお客様と全郵便局のために、安全は働く私たちのために」と経営基本方針を書き連ね、その対策として「管理体制の構築、教育の実施、労災に対する意識の高揚」と、これまで事故が起きるたびにくり返されてきた事であり、怒りなくして見ることは出来ない。

かつて郵便法違反での組合員に責任を転嫁し逮捕された事件、そして輸送用エレベーターでの作業中の転落死亡事故など、労災事故は枚挙にいとまがない。そのどれもが過性のものとして見過ごしにできない。労災事故は、作業時・通勤途上時などにおいて、労働者が負傷・病気・死亡する事故に対して

使用者が災害責任を負うものとし、社会保険への加入を義務づけている。この法令そのものが戦後の闘いの中で労働者が勝ちとってきたものだ。労災事故の責任は一切が使用者にあり、事故を防止するための労働環境の整備は使用者の責任である。

事故の原因は慢性的な要員不足―総非正規化にある

現場は、超勤・廃休が乱発されて、丸投げされた要員で過重労働を強いられている。これでは、労災事故が多発するのは当然である。

事故の概要を説明する「重大事故緊急多発宣言」の掲示

<p>概要</p> <p>被災日時：平成27年11月27日(金) 午後4時00分</p> <p>郵便棟1階大口郵便物保管場所で作業した郵便物を搬送したアルミパレットでフォークリフト使用エリアを横切ろうとしたため、バックしてきたフォークリフトに接触して、タイヤに左足の甲が挟まれ左中指骨を骨折した。(全治4か月)</p>
<p>概要</p> <p>被災日時：平成27年12月15日(火) 午前11時10分</p> <p>郵便棟3階南側2番シュート付近において、1次区分された中ラックを右向きに差し立てる際、誤ってV型の手前の中欄を左手で持ち上げて収納しようとしたところ重みで落ちて中欄のレール部とストッパーに左手中指が挟まれ負傷した。(全治2か月)</p>
<p>概要</p> <p>被災日時：平成28年1月13日(水) 午後3時20分</p> <p>郵便棟1階パケット区分機1号機(第7インダクション)で作業中、第5インダクションで異音が出たため、運転停止をせず駆動部を固く踏を踏んだ。確認しようとして、右手人差し指で触れようとしたところ、ベルトローラー部に右手が巻き込まれ指を負傷した。(全治2か月)</p>
<p>概要</p> <p>被災日時：平成28年1月30日(土) 午前7時5分</p> <p>郵便棟3階北4番シュート付近で作業中、取込作業機からシュート別に区分された赤パレットが搬送されたので、その中にある赤ラックを右向きに区分し空になったパレットの右側面を左手でつかみ、ラックを確認せず片付けようとしたところ、中欄が倒れ左手薬指を負傷した。(全治2か月)</p>

かかつて郵便法違反での組合員に責任を転嫁し逮捕された事件、そして輸送用エレベーターでの作業中の転落死亡事故など、労災事故は枚挙にいとまがない。そのどれもが過性のものとして見過ごしにできない。労災事故は、作業時・通勤途上時などにおいて、労働者が負傷・病気・死亡する事故に対して

使用者が災害責任を負うものとし、社会保険への加入を義務づけている。この法令そのものが戦後の闘いの中で労働者が勝ちとってきたものだ。労災事故の責任は一切が使用者にあり、事故を防止するための労働環境の整備は使用者の責任である。

事故の原因は慢性的な要員不足―総非正規化にある

現場は、超勤・廃休が乱発されて、丸投げされた要員で過重労働を強いられている。これでは、労災事故が多発するのは当然である。

JP労組にこそ、事故多発の責任はある！

労働組合は何をしているのか！これは正規・非正規を問わず職場のすべての労働者の声だ。

会社とJP労組支部は2015年5月、局長とJP労組支部長が笑顔で握手する写真を掲載して「労災事故撲滅に関する共同宣言」を労使で発表した。慢性的な要員不足を問題にせず、非正規職化を一緒になって推進して労働環境の悪化を放置してきたJP労組。この姿に示されている会社と全く闘わないJP労組のあり方こそが、労災事故多発の職場をつくり出して来たのだ。まったく許せない！

16春闘を「労災の根絶、雇止め反対、大幅増員、非正規労働撤廃・全ての労働者を正社員に」の要求を掲げて闘おう！

全国労組交流センター
全通労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5階
Tel 03(3845)7461 Fax 03(3845)7463
URL: <http://www.k-center.org> E-mail: centergo@nifty.com

2016年
3月16日
発行

(ピラの感想や職場状況、またピラに載せてほしいことなどを、気軽にお寄せください。電話・メールどちらでも結構です。)

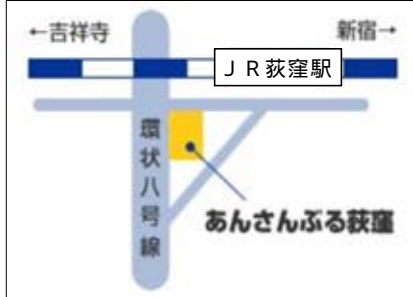
4・17職場交流会への参加のお願い

大幅賃上げ! 非正規労働を撤廃しよう!
晴海局をはじめ全ての雇止め解雇者を職場に戻せ!
正規・非正規が団結して、こんな社会を変えよう!

4・17郵政労働者交流会

日時: 4月17日(日) 午後2~4時(1時半開場)
場所: あんさんぶる荻窪・3F第1教室 (下図を参照)

【JR中央線「荻窪駅」
(西口南側)徒歩3分]
呼びかけ: 郵政非正規
ユニオン/全国労組
交流センター・全通
労働者部会



郵便局で働くみなさんご苦勞様です。

4月17日郵政非正規ユニオンと全国労働組合交流センター・全通労働者部会は、賃金やスキルダウン、パワハラ、交通事故、病気など職場で起きているさまざまな問題について、人間らしく生きられる職場を取り戻すために、『こんな社会を変えよう! 職場交流会』を行います。

この間、荻窪局ではスキル大幅ダウンを撤回させました。また晴海局では解雇撤回の団体交渉に対して、東京都労働委員会で日本郵便の不当労働行為が認定されました。渋谷局ではパワ

ハラにたいし団体交渉で会社を追求する闘いが始まりました。団結し闘えば必ず勝利することが出来ます。

日本郵政とJP労組は、「日本郵政3社の株式上市で会社は発展する」と豪語していましたが、しかし実際はどうでしょうか、株価は株式市場時よりすでに値下がりしています。

安倍政権のマイナス金利政策で、一番打撃を被るのは日本郵政、ゆうちょ銀行、かんぽ生命です。

こうした中で日本郵便は、2月より郵便課廃止の合理化を開始しています。東京支社管内120普通局の郵便内務業務を3つの統括



団結して闘おう!

局(新東京局、東京多摩局、北部局)に集約し、郵便内務業務を廃止するというものです。すでに3統括局への郵便内務業務の移管が始まっています。

集配課は配達と営業に特化し、日本郵便の赤字削減と称して、徹底した人件費の削減で、全国の郵便局では万年欠員状態です。社員は過労死寸前な状態が日常化しています。

安倍政権の下で、こうした状況はさらに強化されようとしています。

安倍首相は、残業代、深夜手当など廃止することを明言し、2017年には非正規労働者の格差を是正すると称して、「同一労働同一賃金」を法案化しようとしています。

「同一労働同一賃金」の狙いは、格差是正ではなく正規・非正規労働者全員を

米韓大軍事演習を弾劾する

3月7日からの米韓合同軍事大演習は、韓国軍30万人、米軍1万7千人を動員した史上最大規模の演習として、4月30日まで強行されます。米韓軍が北朝鮮の内陸深く突入して、政権中枢を一気に壊滅する演習に踏み切ったのです。米韓は、北朝鮮の反労働者的な核実験・ミサイル発射をとらえて、北朝鮮の経済・金融をしめあげる国連安保理決議



米韓合同の上陸作戦(3月12日、韓国・浦項)

と一体で、北朝鮮の体制転覆と、民主労総を先頭とする韓国労働者階級のゼネスト決起を鎮圧する侵略戦争に突入しようとしているのです。世界大恐慌の激化は、こうして今や東アジアや中東を最先端に世界戦争に転化し始めているのです。

全学連6学生の即時釈放を!

3月29日には昨年成立した安保関連法が施行されます。日本は、米韓と一体で朝鮮侵略戦争に踏み込もうとしています。

この安倍政権の戦争体制づくりと一体で、昨年10月の戦争反対の京大バリストを口実として、全学連の学生6人が不当逮捕されています。全く許せません。全国の労働者・学生の反撃で奪還しよう!

総非正規職化することです。8時間労働制を解体・廃止して、成果主義賃金の導入

によって全労働者を競争させ、会社の思いがままの職場を作り出すことです。そして総非正規化で経済的貧困を強要し、戦争への労働

者の動員を作り出そうとしているのです。

一人で悩まずに仲間と話し合い、団結し、闘うことで道は切り開けます。多くの皆さんが交流会に参加されることを呼びかけます。

職場の相談を承ります! 郵政非正規ユニオン(TEL:080-5685-2113) 東京東部ユニオン(葛飾区新小岩2-8-8 クリスタルハイム203号 TEL:03-6410-4329 FAX:03-6410-4369 E-Mail:tobuunion@grace.ocn.ne.jp) 東京西部ユニオン(杉並区天沼2-3-7 さかいビル2A号室電話:03-3220-7473 FAX:03-5930-6136 E-Mail:seibu-union@mocha.ocn.ne.jp) なんぶユニオン(品川区大井1-34-5河野ビル3F Tel&Fax:03-3778-0717 E-Mail:nambuunion@yahoo.co.jp) 東京北部ユニオン(豊島区西池袋5-13-10 ハイマート西池袋603号 TEL&FAX 03-6914-0487 E-Mail:tokyohokubuunion2010@yahoo.co.jp) 東京中部ユニオン(台東区元浅草2-4-10、5F気付 電話:070-6981-1441 E-Mail:kudansita2005@yahoo.co.jp) 多摩連帯ユニオン(八王子市明神町4-14-5リーベンスハイム八王子2-203 電話&FAX:042-644-9914 E-Mail:tamarentai.union@gmail.com) ちば合同労働組合(千葉市中央区要町2-8DC会館内 電話:043-225-2207 E-Mail:chiba_goudou@yahoo.co.jp) 合同労組かながわ(横浜市南区山王町4-26-3 ストックビル秋山301 電話:045-242-1055 E-Mail:c_kanagawa@yahoo.co.jp) 湘北合同労組(相模原市南区相模台2-9-19 電話・Fax:042-766-9254 E-Mail:shohoku_godounion@yahoo.co.jp) さいたまユニオン(電話:080-7016-1891 E-Mail:sai_union@yahoo.co.jp) とちのきユニオン(宇都宮市今泉3-8-5-501 電話:080-2060-0785,FAX:028-624-1306,E-Mail:tochi_workers-unite@yahoo.co.jp) 山梨合同労組(電話:0555-84-1108 E-Mail:yamanashi-joint@aurora.ocn.ne.jp) 群馬合同労組(前橋市筑井町936-3 電話:090-9016-0272 E-Mail:gungoroso@ybb.ne.jp)